

事務事業名	《H24新規》自然観察指導員講習会事業		所属部局	農林商工部	単位番号	2012-900041				
	□ 実施計画事業		所属課室	みどり自然課	課長名	杉山 啓子				
			所属担当	自然保護推進担当	担当者名	廣瀬 和弘				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	32	自然と共生する地域づくり								
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)			法令根拠						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 楡形山の自然環境を保護するために、(財)日本自然保護協会と共催し、自然観察指導員講習会を楡形山県民の森を会場に開催。3日間の講習をすべて履修した者が日本自然保護協会の自然観察指導員に認定、登録される。自然観察指導員として、今後は楡形山を中心に定期的に自然観察会を開き、楡形山の自然の豊かさや魅力を伝え、地域住民が楡形山に関心を高める機会を創出する。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 講師謝金 158 その他負担金 71 消耗品費 40 食糧費 23 使用料 85 機械及び車輛借上料 42 計 419						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	(財)日本自然保護協会と共催でネイチャ・フィーリング研修会を開催し、自然観察指導員のレベルアップを計った。伊奈ヶ湖周辺で自然観察会を開催。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
25年度活動実績			ア	自然観察指導員受講生	人
26年度活動予定			イ		
ウ			ウ		
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	楡形山の自然に関心をもち、さらにその自然のあり方を広く伝えるキュレーター	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	自然観察指導員受講生	人
			イ		
			ウ		
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	(財)日本自然保護協会認定の自然観察指導員として楡形山を中心に自然観察会を開催する地域ボランティアリーダーの養成。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	自然観察指導員	人
			イ		
			ウ		
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	定期的に自然観察会を開催し、多くの地域住民が楡形山に関心を高める。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	観察会の開催数	回
			イ	観察会の参加者数	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円		627	284	83				
		事業費計(A)	千円	0	627	284	83	0	0	0	
人件費	コスト	正規職員従事人数	人								
		延べ業務時間	時間								
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	0	627	284	83	0	0	0	
活動指標	ア	人									
	イ										
	ウ										
対象指標	ア	人			21.0						
	イ										
	ウ										
成果指標	ア	人			21.0						
	イ										
	ウ										
上位成果指標	ア	回			4.0						
	イ	人			30.0						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	楡形山のトレッキングルート整備に伴い、正しく楡形山の自然と触れあえる地域リーダーを養成するため。また、新規の楡形山トレッキングルート整備が単にハード整備で終了する市としての危機感によるもの。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	身近な自然環境へ関心を寄せる地域住民が増えてきた。果たして楡形山のトレッキングルート整備が楡形山の「自然を楽しむ学ぶ」という主旨が投影されるのかどうか地域住民に関心を高めてもらい評価する。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	ハード整備が先行するトレッキングルート整備に対し地域住民が学びながら楡形山の自然と触れ合う機会を創出するほうが将来的な自然環境保全につながる、また資源調査を行い自然資源の発掘と保護をして欲しい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	(財)自然保護協会の自然観察指導員と協議を進め、新たに自然観察指導員に認定された者が楡形山で活動できるフォローアップ研修と次年度に向けて定期的な自然観察会を開催するための準備を行っている。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	事業実施1週間前に下見を実施。効率的な事業運営に努めた。

事務事業名	《H24新規》自然観察指導員講習会事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	---------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市長の政策に楡形山の自然を学び楽しむプログラムづくりに合致している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 地域に自然を解説したり案内できる人材がいないので、市として自然観察指導員を養成し、地域ボランティアを養成する必然性がある。将来的に地域ボランティアが自然観察グループを発足させて独自に活動できるよう継続的に支援する。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 本市の持つ南アルプスの自然資源を有効に保全するためには持続する必要性が非常に高い。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 自然観察指導員が自主的かつ定期的に自然観察会を開催できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 持続的な自然観察会が消失する。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 持続的な自然観察会が消失する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業実施に係る最低限の予算措置であり、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 自然観察指導員講習会の講師派遣が必要なため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 すべての市民に本市の財産である南アルプスの自然の魅力を地域ボランティアを通して発信していくためには地域リーダーを養成する必要がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民に本市の財産である南アルプスの自然の魅力を地域ボランティアを通して発信していくためには地域リーダーを養成する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ①																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑫																					